



2027年2月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年10月14日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

半期報告書提出予定日 2026年10月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年3月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	6,089	11.4	671	65.3	693	54.8	446	64.2
2026年2月期中間期	5,466	4.3	406	△15.2	447	△12.0	271	△15.7

(注) 包括利益 2027年2月期中間期 518百万円 (87.5%) 2026年2月期中間期 276百万円 (△31.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	483.38	—
2026年2月期中間期	294.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	6,871	4,182	54.8
2026年2月期	6,589	3,789	51.8

(参考) 自己資本 2027年2月期中間期 3,762百万円 2026年2月期 3,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	135.00	135.00
2027年2月期	—	0.00	—	—	—
2027年2月期 (予想)	—	—	—	135.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想 (2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,398	0.0	944	0.0	1,033	0.0	492	533.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期中間期	953,600 株	2026年2月期	953,600 株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	30,468 株	2026年2月期	30,468 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年2月期中間期	923,132 株	2026年2月期中間期	923,132 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年3月1日～2026年8月31日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、物価上昇が継続する中、消費者マインドの動向には引き続き留意が必要な状況となりました。

また、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや、それに伴う原油価格の変動など、海外経済を巡る不確実性が引き続き我が国経済の下振れリスクとなっています。

このような環境の中、当社グループでは、リユース事業において、複数店舗の継続的な出店を支える仕組みと体制の整備を進めるとともに、経年劣化した既存店舗の改修に取り組みました。

また、地方創生事業においては、経営資源を重点的に投入する事業・業態の選択と集中を進めました。

店舗数の推移について、フードサービス事業で5月に1店舗（愛媛県松山市）を新規出店し、同月に1店舗（香川県高松市）を閉鎖しました。また、地方創生事業で3月に2施設（愛媛県西条市及び西予市）の指定管理を終了しました。リユース事業では、6月に1店舗（タイ王国バンコク）を新規出店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業115店舗、フードサービス事業24店舗、地方創生事業6施設、合計145店舗となりました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高6,089,244千円（対前年同期比11.4%増）、営業利益671,529千円（同65.3%増）、経常利益693,124千円（同54.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益446,224千円（同64.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

（リユース事業）

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、高い水準で店舗運営を行うことのできる店長・リーダーの育成に取り組み、九州地方における連続出店の準備を進めました。海外事業では、タイ王国バンコクに5号店を出店するとともに、今後の出店及び既存店舗の強化に向け、現地の組織体制を大幅に見直しました。

この結果、売上高4,687,528千円（対前年同期比15.5%増）、セグメント利益（営業利益）854,129千円（同39.7%増）となりました。

（フードサービス事業）

モスバーガー事業では、厨房機器の更新を行い、お客様のニーズに対応できるお店づくりに取り組みました。

トマト&オニオン、とり壺などの業態も堅調に推移しました。

この結果、売上高1,245,820千円（対前年同期比2.1%増）、セグメント利益（営業利益）129,549千円（同13.1%増）となりました。

（地方創生事業）

原材料費・光熱費をはじめとした各種コストが上昇する中、事業・業態の現状分析を踏まえ、将来の成長が見込める分野と撤退する分野を選別し、収益性の改善に取り組みました。

この結果、売上高155,895千円（対前年同期比17.8%減）、セグメント損失（営業損失）76,716千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）101,381千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて236,980千円増加し、3,626,691千円となりました。現金及び預金が112,467千円、売掛金が23,564千円、商品が64,372千円、その他の流動資産が36,737千円それぞれ増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて44,930千円増加し、3,244,569千円となりました。有形固定資産が43,732千円、投資その他の資産が2,510千円それぞれ増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて281,911千円増加し、6,871,260千円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて71,629千円減少し、1,053,880千円となりました。買掛金が26,151千円、未払法人税等が4,723千円それぞれ増加し、その他の流動負債が110,059千円減少したことが要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて38,810千円減少し、1,635,073千円となりました。役員退職慰労引当金が9,375千円、その他の固定負債が30,987千円それぞれ減少したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて110,440千円減少し、2,688,953千円となりました。
(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて392,352千円増加し、4,182,307千円となりました。利益剰余金が321,601千円増加したことが主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ111,761千円増加し、1,783,617千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費等の非資金項目の調整があった一方、法人税等の支払い、棚卸資産及び売上債権の増加等により、515,835千円の収入（前中間連結会計期間は430,582千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入等があった一方、有形固定資産の取得、定期預金の預入、差入保証金の差入及び関係会社への貸付けによる支出等により、239,515千円の支出（前中間連結会計期間は32,532千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があった一方、長期借入金の返済、配当金の支払い及びリース債務の返済等による支出により、162,371千円の支出（前中間連結会計期間は386,444千円の支出）となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月14日に公表しました「2026年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,085	1,892,552
売掛金	149,005	172,569
商品	1,274,928	1,339,301
その他	187,574	224,312
貸倒引当金	△1,883	△2,044
流動資産合計	3,389,710	3,626,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,129,943	1,124,116
その他(純額)	709,177	758,736
有形固定資産合計	1,839,121	1,882,853
無形固定資産	21,732	20,420
投資その他の資産		
差入保証金	530,312	548,695
その他	818,899	800,706
貸倒引当金	△10,427	△8,107
投資その他の資産合計	1,338,785	1,341,295
固定資産合計	3,199,638	3,244,569
資産合計	6,589,349	6,871,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,858	83,009
1年内返済予定の長期借入金	286,947	294,502
未払法人税等	181,914	186,637
その他	599,790	489,730
流動負債合計	1,125,510	1,053,880
固定負債		
長期借入金	819,322	819,209
退職給付に係る負債	38,110	38,202
役員退職慰労引当金	115,312	105,937
資産除去債務	497,824	499,397
その他	203,313	172,326
固定負債合計	1,673,883	1,635,073
負債合計	2,799,394	2,688,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	2,740,166	3,061,767
自己株式	△70,666	△70,666
株主資本合計	3,280,514	3,602,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,436	67,145
為替換算調整勘定	87,828	92,812
その他の包括利益累計額合計	135,264	159,958
非支配株主持分	374,175	420,232
純資産合計	3,789,955	4,182,307
負債純資産合計	6,589,349	6,871,260

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
売上高	5,466,586	6,089,244
売上原価	1,868,178	2,086,111
売上総利益	3,598,408	4,003,133
販売費及び一般管理費	3,192,038	3,331,603
営業利益	406,370	671,529
営業外収益		
不動産賃貸料	28,909	28,909
受取負担金	15,037	—
補助金収入	7,837	6,575
受取手数料	7,038	7,041
その他	16,051	19,930
営業外収益合計	74,873	62,455
営業外費用		
支払利息	6,129	6,646
不動産賃貸原価	27,104	27,349
為替差損	—	6,700
その他	229	164
営業外費用合計	33,464	40,860
経常利益	447,779	693,124
特別利益		
固定資産売却益	—	7
受取補償金	—	11,885
特別利益合計	—	11,893
特別損失		
固定資産除却損	144	183
店舗閉鎖損失	16,350	—
関係会社株式評価損	—	5,500
特別損失合計	16,494	5,683
税金等調整前中間純利益	431,285	699,334
法人税、住民税及び事業税	120,703	159,347
法人税等調整額	△1,411	38,893
法人税等合計	119,291	198,240
中間純利益	311,993	501,093
非支配株主に帰属する中間純利益	40,295	54,869
親会社株主に帰属する中間純利益	271,698	446,224

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
中間純利益	311,993	501,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,190	19,709
為替換算調整勘定	△41,420	△1,849
その他の包括利益合計	△35,229	17,860
中間包括利益	276,764	518,953
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	249,078	470,918
非支配株主に係る中間包括利益	27,686	48,035

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	431,285	699,334
減価償却費	123,849	133,306
長期前払費用償却額	6,287	5,975
店舗閉鎖損失	16,350	—
受取補償金	—	△11,885
貸倒引当金の増減額（△は減少）	337	△2,159
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,455	242
関係会社事業損失引当金の増減額（△は減少）	△1,600	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,437	△9,375
契約負債の増減額（△は減少）	13,207	927
受取利息及び受取配当金	△4,533	△4,683
支払利息	6,129	6,646
受取負担金	△15,037	—
関係会社株式評価損	—	5,500
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△7
有形固定資産除却損	144	183
売上債権の増減額（△は増加）	△31,307	△23,562
棚卸資産の増減額（△は増加）	△72,193	△64,238
仕入債務の増減額（△は減少）	12,616	26,906
その他	△11,732	△101,355
小計	479,695	660,753
利息及び配当金の受取額	4,533	4,683
受取負担金の受取額	60,000	—
利息の支払額	△5,857	△7,104
補償金の受取額	—	11,885
法人税等の支払額	△107,789	△154,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,582	515,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	400,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△172,982	△184,723
有形固定資産の売却による収入	—	3,643
資産除去債務の履行による支出	—	△5,450
無形固定資産の取得による支出	△1,118	△688
投資有価証券の取得による支出	△23,820	△810
関係会社株式の取得による支出	—	△5,500
長期前払費用の取得による支出	△13,063	△3,525
差入保証金の差入による支出	△32,369	△20,156
差入保証金の回収による収入	8,622	2,335
投資不動産の取得による支出	△1,500	△7,780
関係会社貸付けによる支出	—	△20,000
貸付金の回収による収入	3,699	3,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,532	△239,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	220,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△444,132	△172,558
リース債務の返済による支出	△36,630	△43,493
配当金の支払額	△123,964	△124,341
非支配株主への配当金の支払額	△1,717	△1,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,444	△162,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,268	△2,187
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△20,663	111,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,434,160	1,671,856
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,413,497	1,783,617

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,057,208	1,219,725	189,652	5,466,586	—	5,466,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,057,208	1,219,725	189,652	5,466,586	—	5,466,586
セグメント利益又は損失 (△)	611,313	114,536	△101,381	624,468	△218,097	406,370

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,687,528	1,245,820	155,895	6,089,244	—	6,089,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,687,528	1,245,820	155,895	6,089,244	—	6,089,244
セグメント利益又は損失 (△)	854,129	129,549	△76,716	906,962	△235,433	671,529

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。